

社員総会

2023年11月22日(水) 午後3時00分～
於：オンライン・協会事務局



〔全国各地で交流・学びを深めた1年〕

決議事項

- 第1号議案 第9期(2022年10月1日～2023年9月30日期)
事業報告書承認の件
- 第2号議案 第9期(2022年10月1日～2023年9月30日期)
決算報告書承認および監査報告の件

報告事項

1. 第10期(2023年10月1日～2024年9月30日期)事業計画及び予算

1. まとめ

①評価と認定

2020年4月にコロナウイルス感染対策による緊急事態宣言が出され、2023年5月にこの方針が感染症「5類」に移行されるまでの3年間、様々な行動制限が続きました。病院や施設では面会制限が続き、親族の終末期や看取りなど、かけがえのない、取り返しのつかない場面で、「会えなかった」という深い傷を与えました。全国のホームホスピスでは、感染管理と日常生活の維持をどう両立させるかを工夫し、ターミナル期の面会を制限しませんでした。これには、感染のリスクよりも、つながりを無くすリスクの方が大きいと判断し、守るべきものは「暮らしと人生」というホームホスピスの理念に基づいたものだと思います。

2015年に制定した「ホームホスピスの基準」は、実践に裏打ちされて出来上がった基準です。この基準を良い形で維持するために peer review しあい、より進化させていくために、レビュー（評価）の仕組み（自己評価と点検）を作っています。開設後5年経ったら再度レビューを受けるのですが、コロナ禍の影響が残っており、レビューの実績が伸びませんでした。

②研修

今期で第11回を迎えた**ホームホスピス全国大会**は、開設を準備しているホームホスピス北海道の協力を得て札幌での開催となりました。北海道でホームホスピスをどう育むかを鍵に「ホームホスピスが創る未来図」をテーマに、中島秀之氏の基調講演は医療と福祉の未来予想図を描くものでした。宮本太郎氏は、これからの地域共生社会とホームホスピスの関係作りについて、大島一博氏は行政の立場から社会保障の将来について、河正子氏からは生きる力を支えるということについてお話いただきました。翌日の山崎亮氏と加藤忠相氏の対談は、ケアの原点にせまる話でみんな身を乗り出して聞き入りました。シンポジウムは北海道の未来を担う方々の登壇で、濃密な2日間となりました。

ホームホスピス実践者育成塾は、神戸で実施され、久しぶりに顔を合わせての学びでした。人材育成について、村瀬孝生氏と中迎聡子氏に実践を交えての講義は、改めて振り返りの時間でした。

支部研修会は、外部に向けてホームホスピスを啓発することから、内部での研修とし交流の機会にしようと、九州支部、西日本支部、東日本支部で開催しました。関東支部は来期に持ち越しとなりました。それぞれの近況報告を通して、課題や悩みは共通していること、それをどうやって乗り越えているのかなどを、交流することで元気をもらう会となりました。

③人材育成：「ホームホスピスの学校」

2022年第4期、「つくるコース」は5チームで14名受講と「まなぶコース」15名の参加でした。2023年5期、「つくるコース」は9チーム28名参加、「まなぶコース」7名でした。参加者の中には10年間もホームホスピスをつくりたいという想いを温めていた訪問看護師の方や、沖縄県や和歌山県、長野県、京都府など、ホームホスピスの無い県の方々からも応募があり、大いに期待されます。

座学がオンラインで受講できるスタイルは、これまでホームホスピスをつくりたいけれど、仕事を続けながらでは困難とあきらめていた方にとって朗報でした。また仕事の都合などによりライブで受講できなくても、アーカイブで動画が配信されますので、それを受講しレポートを提出し評価を受けるというのも、仕事をしながら受講する方にとっては受講しやすい形になっています。また、ホームホスピスで働く方向けの「ホームホスピスコース」では、新人研修や学び直し場として活用されています。

④開設及び拠点整備

物件が見つければ、理事会で実際に足を運び、家の間取りなどでは、山口理事にアドバイスをもらいました。福岡県糸島市のNPO法人マイルでは、当初予定していた物件が家主の都合で借りることができなくなり、その後すぐこの家を使っていいよという訪問先からの申し出があり現在準備中です。地域を掘り起こしてきたことの信頼が大切だと思われました。家を探すことがやはり一番の難関ですが、元々暮らしの場であった民家が、新たな生活の場所として生かされていくことを伝え続け、探していくことが大切だと思います。

◎ホームホスピスが新たに誕生

2022年11月大阪府寝屋川市にホームホスピスあゆ実、2023年7月鹿児島県鹿児島市にホームホスピスあんまあの家が開設しました。

また、物件を決めて資金計画や改築の準備に取り掛かっている所が、新潟県新潟市、千葉県成田市、東京都大田区、神奈川県逗子市、兵庫県小野市、福岡県糸島市、福岡県広川町、7法人になり、理事と事務局で実際に現地を訪問しました。

また、メットライフ生命のホームホスピスに対する助成が始まり、改築及び新築も可能になりました。鹿児島市あんまあの家は、「メットライフ財団×日本財団 高齢者の豊かな居場所プログラム」の助成金で開設されました。

⑤運営にかかわる相談

協会事務局には、全国のホームホスピスからの相談電話がかかってきます。新たに2軒目開設したいのだがとか、介護職の人材が足りずやむなく夜勤を続けている、BCPの作成はどうしたらよいか、事業継承について等々です。必要があれば、出向いて話を聞き、課題を見つけてどうすればいいのかを一緒に考えます。また、今期はまだ現地に伺っていないところに積極的に足を運び、11軒のホームホスピスを訪問しました。

また、自宅での介護困難や終末期に過ごす場所として、全国にあるホームホスピスを紹介してくださいというご相談も増えて居ます。そんな時に、どこの県にも、どの地域にもホームホスピスがあったらと思います。

⑥運営

2015年に全国ホームホスピス協会を設立し、運営にかかる費用は日本財団助成金を受けてきました。日本財団では、助成事業の中から代表的な評価対象事業を選定し、**外部機関による事業評価**を実施されていて、2022年度は当協会も受けました。評価は約半年間に渡り、外部の有識者からのヒアリングも受け、会員の皆様にもアンケートのご協力をいただきました。その結果、5段階評価(S,A,B,C,D)の内、A評価(優良である)という結果となりました。

国民の多くが在宅で最後まで暮らしたいと願っているのに、実際はその8割は病院で亡くなっている現状に、ホームホスピスの存在が重要であるとの認識でした。ですが、今後も日本財団の助成金のみでは協会運営は危うく、今後の協会の自立に向けての第3フェーズ(3か年)で見直す時期に来ています。その為、資金源を増やしていくことや、都道府県単位でホームホスピスの普及を目指していくこと等が求められています。

2. 第9期事業活動実績

① 評価及び認定

◎レビュー(認定審査)の実施

- ・新規レビュー なし
- ・5年更新レビュー
2022年4月14日 にじいろのいえ
7月24日 樺

*評価審査委員：高橋紘士、市原美穂、松本京子、竹熊千晶、金居久美子、岡本峰子、山口健太郎

② 研修会の実施

◎全国合同研修会の開催

第11回ホームホスピス全国合同研修会

「ホームホスピスが創る未来図」

期日：2022年10月29、30日

会場：北海道札幌市 ACU 札幌 ・ オンライン配信

内容：

10月29日(土)

開会挨拶 市原美穂

挨拶 尾形武寿(日本財団理事長)

- ・医療と福祉の未来予想図 中島秀之氏(札幌市立大学学長)
- ・地域共生社会の実現に必要なものは何か 宮本太郎氏(中央大学法学部教授)
- ・全世代社会保障会議と社会保障の将来 大島一博氏(厚生労働事務次官)
- ・生きる力を支えるために 河 正子氏(NPO 法人緩和ケアサポートグループ理事長)
- ・つながる時間～交流を深めましょう～

10月30日(日)

- ・多世代のとも暮らし 山崎 亮氏(studio.L代表) 加藤忠相氏(あおいけあ代表取締役)
- ・ホームホスピスの暮らし 市原美穂
- ・ホームホスピスを北海道でどう育むか

ファシリテーター：永森克志氏(ささえる医療研究所理事長)

シンポジスト：山田奈緒美氏(NPO 法人とものむら理事長) 村松 司氏(公衆衛生医師)

松山雅氏一(NPO 法人かしのり代表) 半澤博恵氏(ホームホスピス北海道代表)



参加人数：会場 108名、オンライン 107名

【参加者感想】

スピリチュアルペインの講座にて考えさせられることも多くあり、大変興味深く聞かせていただきました。

勇気と元気、やる気がもらえて、参加してよかったと思いました。来年はぜひ福岡でお会いしたいです。来年はホームホスピスの学校にも参加できそうです。

河先生のお話は、お母様のお話をもとにホームホスピスでの生活が目に見えるようでした。もうひとつのいえであるホームホスピスでの暮らしがあったからこそ、お母様が穏やかに生活できたのでしょうね。学校で学んだことが繋がってきた感じがしました。「心に届くのは心だけ」制度とか、統計とか、こうあるべきとかそういうところではなく、悲しみを抱えた一人の人間として、これからもともに逝く存在としてを大切にしたいと思いました。

北海道の方々がしっかりと地域に根付いている姿を見て勇気を頂きました。オンラインでしたが、皆さんの熱い想いをしっかりと受け止めて私も地域に関わりたかったです。

自分の中でこれから先ホームホスピスをするかどうか迷っていたり、悩んでいたりでして中で、現実を知れたりもして今回の内容が身にしみました。ホームホスピスに興味があっても、わたしのように混沌とした想いの方はきっとおられたと思います。講座全体が興味深かったです。



第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡

第1回実行委員会 2023年2月13日

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール サウスルーム

参加者数：24名（九州支部：ホームホスピス運営団体、ホームホスピスの学校修了生、個人正会員）

◎各支部活動

（1）研修会（内部向け研修を実施）

① 九州支部研修会

期日：2023年2月13日

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール サウスルーム

参加者数：26名（会場20 オンライン6）

内容：各ホームホスピスより近況報告

BCPの策定について 講師 黒岩雄二



② 西日本支部研修会

期日：2023年3月11日

会場：アクリエ姫路・オンライン

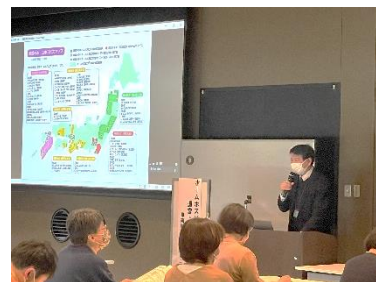
参加者数：60名（会場37 オンライン23）

内容：ホームホスピスのこれから 講師 市原美穂

ホームホスピス運営上の課題と対策 講師 黒岩雄二

グループワーク「ケアと運営の実際を共有し、改善策を見出そう」

司会進行：ひなたの家 金居久美子



③ 東日本支部支部研修会

期日：2023年9月9日

会場：秋田拠点センターアルヴェ 4階 洋室C

参加者数：26名（会場11名 オンライン15名）

内容：ホームホスピスにおけるBCP作成のポイント 講師 黒岩雄二



◎ホームホスピス実践者育成塾

期日：2023年7月1、2日

会場：神戸国際会館(兵庫県)・オンライン配信

内容：

7月1日

- ・スタッフの育成 村瀬孝生氏(宅老所よりあい統括所長)
- ・チームづくり(シンポジウム) ファシリテーター松本京子
シンポジスト：富田真紀子氏(里の家) 中村順子氏(くらの家)
西山裕規氏(愛逢の家) 加藤長年氏(神戸なごみの家)

7月2日

- ・タクティール®ケア 貝阿彌博美氏(JSCI公認タクティール®ケアインストラクター)
- ・介護を楽しもう 中迎聡子(株式会社いろ葉代表取締役)
- ・広報・広告を学ぼう 伊藤正樹(ソーシャル・エンライトメント株式会社)



参加人数：会場109名 オンライン70名

【参加者感想】

どのように人材を確保し育成するか、看護職としてどう介護職を育成するか（今まで介護職と協働したことがないため）、自己の新たな課題に気付きました。

これから作る段階なので、理想だけでできるのかなといろいろ心配でした。でも、村瀬さんのお話や4人の先輩方の話をお聴きして気が楽になりました。大変だけれど、理念を守れば、何でもありだなと。話し合っって作っていけばよいと思いました。

伊東さんの講演での社会へアピールしていく方法、手段を学ぶことができました。上手くできないかも

しませんが、まずは地域にアピールして多くの賛同を得たいと思います。

住人さん家族の意向を確認するように、スタッフ育成という面では、スタッフの意見も確認、日々意思の確認と合意を重ねていくことが必要だと感じました。



④ 人材育成

◎ホームホスピスの学校

ホームホスピスを始めたい人、またホームホスピスのことを学びたい人の為に、2つのコースを用意しました。「つくる」コースは、ホームホスピスの理念やケアの哲学および運営や管理についての座学と1カ月程度の現場実習で構成されます。また「まなぶ」コースは、理念や運営などの座学は「つくる」コースを共有し、現場実習を数日間としました。

ホームホスピスで働く方向けの「ホームホスピスコース」では、新人研修や学び直しの間として活用されています。

- ・4期生 「つくるコース」5組14名 「まなぶコース」15名

2022年10月1日開校式

10月1日～10月118日 座学①・オンラインミーティング

10月19日 つくる準備講座

11月4～8日 つくるコース オンライン面接

11月15日～12月1日 つくるコース 座学②

12月～ 実習・事務研修

- ・5期生「つくるコース」9組28名 「まなぶコース」7名 ホームホスピスコース2名

2023年6月3日開校式

6月3日～6月20日 座学①・オンラインミーティング

6月22日 つくる準備講座

7月5～7日 つくるコース オンライン面接

7月11日～8月1日 つくるコース 座学②

8月～ 実習・事務研修



〔事務研修〕



〔実習〕

⑤ 開設及び拠点整備

◎開設前現地指導

現地視察、メール、電話、オンラインによる相談を実施

相談内容：開設、運営、物件選定、改築設計、助成金、
改築設計相談、団体設立のための広報活動相談 など

・現地視察、相談

2022年

10月14日東京都大田区

11月11日 福岡県糸島市

2023年

3月17日 岩手県九戸郡

4月21日 兵庫県小野市

5月1日 福岡県糸島市、広川町

6月2日 千葉県成田市



〔開設相談〕



〔候補物件視察〕

◎拠点整備前視察・相談

2023年6月21日 あんまあの家(改築中視察)

◎新規開設

2022年11月ホームホスピスあゆ実(大阪府寝屋川市)

2023年7月ホームホスピスあんまあの家(鹿児島県鹿児島市)



⑥ 運営にかかわる相談・基盤づくり

◎相談支援・ヒアリング

《視察・相談》

・現地視察、支援

2023年

2月14日 福岡県糸島市(しずく)

2月26日 石川県小松市(もうひとつのいえやさん)

- 3月10日 大阪府豊中市 (NPO 法人のぞみ)
- 3月10日 兵庫県宝塚市 (宝塚つ・む・ぐの家)
- 3月10日 大阪府寝屋川市 (あゆ実)
- 3月10日 兵庫県姫路市 (ohana)
- 3月16日 秋田県秋田市 (くらの家)
- 3月17日 青森県八戸市 (もりの家)
- 6月21日 宮城県仙台市 (にじいろのいえ)
- 6月21日 鹿児島県伊集院町 (もくれんの家)
- 7月23日 東京都文京区 (セ・ラ・ヴィ！)



〔くらの家〕



〔もりの家スタッフ：ミニ研修〕

《電話・メール等による相談》

主な内容：新規開設、閉鎖、継承、助成金申請、運営、広報、など



〔セ・ラ・ヴィ！にて関東支部意見交換会〕

◎ 実践者スキルアップ研修

ケアを担っているスタッフが希望する他のホームホスピス（現在は下記の5カ所が受入機関）

もしくは、事務担当スタッフが協会事務局にて1日～2週間程度研修

受入機関…ホームホスピスカあさんの家・ホームホスピス神戸なごみの家・ホームホスピス愛逢の家
ホームホスピスたんがくの家・ホームホスピスわれもこう・ホームホスピスひなたの家
協会事務局

- ・2022年4月18日 まろんの家
- 研修先：ホームホスピス宮崎
- 内容：今後の運営・介護保険事業について

◎緊急支援

なし

⑦ 調査研究と普及

- ・ホームホスピスについての新聞掲載記事等の収集、管理
- ・ホームホスピスの基準（英語版）の作成



〔北海道新聞〕



〔毎日新聞〕

・インフォメーション

◎定時社員総会

日時：2022年11月28日（月）17：00～18：00

於：WEB

決議事項：

第1号議案 第8期(2021年10月1日～2022年9月30日)

事業報告書承認の件

第2号議案 第8期(2021年10月1日～2022年9月30日)

第3号議案 役員

決算報告書承認および監査報告の件

報告事項：第9期(2022年10月1日～2023年9月30日)事業計画及び予算



◎理事会の開催

第1回理事会 2022年11月22日 場所：オンライン

議事：

- ① 総会資料について
- ② 新理事の推薦について
- ③ ホームホスピスの学校について
- ④ レビューについて
- ⑤ 第10回全国合同研修会 in 札幌について

第2回理事会 2022年11月28日 場所：オンライン

議事：

- ① 総会資料の確認・承認
- ② 理事改選について
- ③ 次回のホームホスピスの学校について（時期、内容、料金）
- ④ 来年の育成塾の場所、時期について

第3回理事会 2023年1月12日 場所：オンライン

議事：

- ① 第5期「ホームホスピスの学校」について
- ② 第7回「ホームホスピス実践者育成塾」について
- ③ 日本在宅ケアアライアンスへの加入について

第4回理事会 2023年3月4日 場所：オンライン

議事：

- ① 第7回「ホームホスピス実践者育成塾」について
- ② 第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡について

第5回理事会 2023年4月28日 場所：オンライン

議事：

- ① 第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡について
- ② 新規レビュー、再レビュー、更新レビューについて
- ③ 第7回「ホームホスピス実践者育成塾」について
- ④ NPO 法人りんどうの入会について



第6回理事会 2023年7月2日 場所：オンライン

議事：

- ① 第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡について
- ② 来季の事業計画および2024年4月以降の日本財団の協会助成について
- ③ 次回の役員改選に向けて

第7回理事会 2023年8月6日 場所：協会事務局・オンライン

議事：

- ① 第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡について
- ② 来季の事業計画および2024年4月以降の日本財団の協会助成について

第8回理事会 2023年9月15日 場所：神戸国際会館

議事：

- ① 第12回ホームホスピス全国大会 in 福岡について
- ② 来期の事業計画および中長期計画（今後の日本財団の協会助成）について

第9回理事会 2023年9月29日 場所：オンライン

議事：

- ① 来期の事業計画について
- ② 運営者会議の実施について

◎事務局体制

事務局長：黒岩雄二、事務局：岡田瑞穂、岩切知峰

理事会記録：古野たづ子

事務局も今期で8年目となりました。今期は後半になって新型コロナによる影響が解消に向かい、現地に赴いての打ち合わせや研修会などもほぼコロナ前に戻ってきました。

業務としては、会員名簿の管理、理事会の運営、相談対応、情報発信、研修の企画・運営、ホームホスピスの学校の運営、日本財団への助成金申請サポートなど多岐にわたっていますが、特にホームホスピスの学校は2年目となり、「つくる」コースの修了生が増え、開設を目指す方も増えてきたことで、その方々のサポート業務も多くなってきました。

研修会や各種の会議は、コロナが落ち着いてきてもオンラインを併用した参加者と会場をつなぐハイブリッドでの開催が定着してきました。事務局は、会場運営とオンラインのホストとしての役

割も担っています。

事務局業務の多様化と業務量の増加に伴い、来期は体制の強化も図っていきます。

また、当協会は、日本財団様の支援をいただいて運営していますが、助成期間も見直しの時期となり、来年から新たなフェーズに入る予定です。病院ではない自宅または自宅に近い環境で最期の時を過ごし、家族や近い人に看取られる…そのような場所としてホームホスピスの重要性を評価していただき、その推進のために助成していただいています。事務局は、日本財団様との協議や連絡窓口も担っており、ホームホスピス開設のための助成プログラムや寄付金による支援プログラムなどの仲介なども行っています。

【受講研修】

Readyfor オンラインセミナー「支援者を増やすための広報とは」「継続寄付」
組織基盤強化フォーラム
FRJ2023
SNS 活用研修

◎広報活動

- ・ニューズレターたんぽぽ 8号の発行
- ・ホームホスピス協会パンフレット制作、配布
- ・ホームページ（担当：黒岩雄二・岩切知峰）
- ・Facebook（担当：岡本峰子・黒岩雄二）
- ・Instagram(担当：岡田瑞穂)
- ・X(担当：岡田瑞穂)



◎メットライフ生命 CSR 活動

- ・ホームホスピスオンライン聞き書き
2022年11月5日 聞き書き講座① 講師：小田豊二氏 社員15名
(宿題) VTR 視聴して聞き書き体にしてみよう
12月10日 聞き書き講座②
2023年1月～3月 3チームに分かれてオンライン聞き書き、製本
ホームホスピスひなた・ホームホスピス心音・ホームホスピスしずく



〔オンライン聞き取り〕



〔完成作品〕

◎一般社団法人日本在宅ケアアライアンス

2023年4月より正会員となりました。

日本在宅ケアアライアンスは、在宅医療を普及推進させるための専門職・学術団体などによる連合体として、制度・政策提言、社会啓発、在宅医療に関する研究・教育、倫理的問題の検討を推進している団体です。日本の在宅ケアを担っている多くの団体が加盟しています。

2023年7月23日に開催された「在宅ケア・サミット2023」に市原理事長が登壇し、他の加盟団体との交流を深めました。

参加：理事3名、事務局2名、ホームホスピス運営2団体



◎日本財団の外部機関評価

日本財団では、助成事業の中から代表的な評価対象事業を選定し、外部機関による事業評価を実施されています。

2022年度は、外部評価機関としてみずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が担当し、当協会を含む6団体が評価（評価機関2016～2021）を受けました。

評価は約半年に渡り、会員の皆様にもアンケートのご協力をいただきました。

その結果、5段階評価（S, A, B, C, D）の内、A評価（優良である）という結果となりました。

第2号議案

第9期決算(案)・監査報告

(2022年10月1日～2023年9月30日)

収入の部	第9期予算	第9期決算	備考
助成金収入	23,670,000	16,842,000	日本財団助成金
会費収入	3,220,000	1,640,000	正団 35 正個 4 賛助 39
レビュー審査収入	300,000	100,000	更新レビュー3カ所
研修参加費収入	1,000,000	1,064,000	全国、育成
ホームホスピスの学校受講料収入	2,800,000	3,328,700	つくる18万*7名、まなぶ2万*7名 (2, 3期)
雑収入		13,273	受取利息
収入合計	30,990,000	22,987,973	
前期繰越金	1,109,695		

支出の部	第9期予算	第9期決算	備考		
事業費	評価及び認定(レビュー)	1,300,000	188,992	旅費・レビュー審査日当	
	研修会の実施	年次大会	3,000,000	2,996,278	11/20,21 宮崎・ハイブリッド
		支部活動費	1,200,000	866,821	九州支部・西日本支部
		育成塾	2,000,000	1,722,460	2日間研修
	人材育成	ホームホスピスの学校	2,000,000	1,703,562	講師・実習受け入れ団体謝金、旅費、現場実習団体指導者会議、チラシ制作
	開設及び拠点整備	1,600,000	770,109	開設前相談・視察 8万×2名×10カ所	
	相談・運営にかかわる基盤づくり	相談支援・ヒアリング	800,000	90,250	運営相談視察
		代表者会議	0	0	会議運営・旅費
		実践者スキルアップ研修	135,000	30,000	旅費補助3万×2名、受入委託費5千×2カ所
		緊急支援	200,000	0	災害時支援(人材派遣旅費、送料等)
	調査研究と普及	500,000	188,600	データ収集・実態調査、ホームホスピスの基準英役、パンフ作成	
	事業費総額	12,735,000	8,557,072		
管理費	人件費	6,500,000	5,265,720	事務局給与1名・パート1名(社保含む)理事会記録雑給、法定福利費含む	
	家賃	960,000	960,000	事務局家賃、光熱費、事務機器使用料	
	事務用品費	50,000	2,970	事務用ソフトウェア	
	消耗品費	30,000	69,797	コピー用紙・文具	
	会議費	400,000	206,986	理事会会場使用料	
	旅費・交通費	1,800,000	772,619	理事会・事務局	
	通信・運搬費	200,000	253,987	切手・レターパック・宅急便・携帯電話	
	業務委託費	2,700,000	2,760,000	HHM 事務委託(人件費)	
	広報費	150,000	64,845	ホームページ更新・名刺・ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)	
	租税公課	84,000	77,605	収入印紙・地方税	
	雑費	600,000	621,559	交際費、支払手数料、業務委託等	
	減価償却費	140,000	0	倉庫、パソコン、撮影機材等	
	予備費	4,641,000	0		
管理費総額	18,255,000	11,056,088			
支出合計	30,990,000	19,613,160			
当期繰越金		3,374,813			

監査報告書

一般社団法人全国ホームホスピス協会
代表理事 市原美穂 様


1. 監査実施年月日：令和5年11月20日

2. 監査に供した書類：事業報告書ならびに財務諸表・帳簿・証拠書類等

監事は、一般社団法人全国ホームホスピス協会定款第38条に基づき、第9期（令和4年10月1日～令和5年9月30日）の業務監査及び会計監査を行った。理事の業務執行の状況に関しては、必要に応じ第9期の理事会に出席して確認し、本日事業報告書の内容を確認した。会計については、財務諸表（活動計算書・貸借対照表・注記・財産目録）・帳簿・証拠書類等を閲覧して照合し、質問等により詳細を確認した。

その結果、理事の業務執行状況については、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、収支報告及び各帳簿は相違なく適正に執行処理されていることを認めためたので報告いたします。

令和5年11月20日

監事 岡本峰子 

報告事項

第10期事業計画書

(2023年10月1日～2024年9月30日)

1、事業活動方針

2012年11月、熊本・阿蘇で「ホームホスピス全国合同研修会～暮らしの中で」死にゆく“こと～”が開かれました。ホームホスピスを立ち上げた5人のメンバーからなる「ホームホスピス推進委員会」での初の行事で、医師、看護職や介護職などの医療関係者が全国から集い、ホームホスピスの理念や基準を共有しようという趣旨でした。この時に”ホームホスピスは地域から生えてきた“という名言が生まれ、地域に支えられながら地域とともに学ぶ仕組みは、まさに文化運動であるムーブメントなのだと確認し、これからのホームホスピスの方向性を示したものとなりました。

そこを起点に2015年一般社団法人全国ホームホスピス協会が設立され、事業を開始して今期は8年(10期)になります。その間、ホームホスピスを運営する法人45団体、家の軒数は65軒、そして準備中の地域が7か所となりました。それぞれの仲間が、緩やかな連携を持ちつつ、理念の共有とケアの質の確保・向上に資するように、今年度も様々な研修の機会を作っていく、同時に「ホームホスピスの基準」の改訂を行います。

また、コロナ禍で実際の集まりを控えていた支部活動や運営者会議などを工夫し、お互いに悩みや課題などを話し合える機会を創ります。介護職の不足など、現場での課題解決のために、スタッフの人材獲得と育成の方法について、先進事例や実績のあるやり方などを調査・研究し、雇用・育成支援ツールを作成することを目指します。

2021年6月に「ホームホスピスの学校」を開講し、オンラインでの座学とホームホスピスでの実習で構成され、毎回全国各地からの応募があります。今期は、第6期、第7期を開講します。講義の内容は年々ブラッシュアップされていますが、「つくるコース」修了後の開設のために必要となるサポートを今年度はより充実させていきます。

2、事業の実施に関する事項

目的	事業名	事業内容	
① 評価及び認定 ① 基準に沿って	レビュー(評価)	開設2年以上の団体正会員 更新レビュー	
	認定審査会	レビュー評価をもとに審査 今後の取り組みについての助言、支援 基準の一部改訂	
② 研修会の実施	全国大会	2023年12月2、3日開催 福岡市 テーマ「あたりまえの暮らしを『あたりまえ』に」	
	ホームホスピス 実践者育成塾 オンライン併用	2024年6月～7月 ・ケアの実践演習 ・ワークショップ ・ホームホスピスの学校との連動 ・事務業務の研修	2日間
	支部研修会	西日本支部(近畿中部を広げて四国、広島を含む) 九州支部、東日本支部、関東支部 ケアの実践報告及び地域向けの研修会	

目的	事業名	事業内容	
③ 人材育成	ホームホスピスの学校 ～単位制～	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講義と現場実習・事務研修・育成塾を組み合わせたプログラム ・ホームホスピスを立ち上げたい人、今のケアに活かしたい人、既存ホームホスピススタッフ、ホームホスピスで働きたい人を対象 【講義】(オンライン研修) ・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践と運営 【実習】(認定ホームホスピスでの実習) ・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践 【事務研修】(協会事務局にて講義・演習) ・組織や運営について ・開設相談に乗りながら立ち上げまでをサポート ・修了生の交流、勉強会の実施 	6期 10月 7期 6月
	スタッフ雇用・育成支援	ホームホスピスで働くスタッフの人材獲得と育成の方法について、先進事例や実績のあるやり方などを調査・研究し、雇用・育成支援ツールを作成する。	
④ ホームホスピス 開設支援及び 拠点整備	開設と拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、組織、地域、運営、助成金申請アドバイス ・現地視察 ・法人設立支援 ・物件環境確認 ・開設記念事業への協力 ・防災マニュアルの整備 	
⑤ 運営にかかわる相 談及び基盤づくり	相談支援 現状把握のためのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・運営や事務、経理等のアドバイス ・地域との関係づくり 	
	実践者スキルアップ研修	「HHの学校」のコンテンツ活用やオンラインミーティングによる意見交換会の開催などを実施	
	運営者会議	ホームホスピスの運営に関する情報共有や課題解決のための会議(全国大会に合わせて開催)	
	緊急支援	災害支援	
⑥ ホームホスピス 調査研究との 連携	講師派遣	他団体主催事業での講演	
	基金の設立に関する調査研究	ホームホスピス支援基金の設立に関する調査研究 ・「ホームホスピスの基準」の改訂	
⑦ 組織運営 (事務局)	社員総会の開催 理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行の決定と監督 ・議事録の作成 	
	会員管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入会にあたっての理事会の承認 ・会費の確認 ・賛助会員の呼びかけ ・会費徴収システムの検討(自動引き落としなど) 	
	商標登録運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証の発行 ・無断で使用できないことを告知 	
	広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・協会ニュースレター(たんぼぼ)の発行 ・協会パンフレット製作 	
	経理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・請求、支払業務 ・収支管理、決算業務 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メットライフ生命 CSR 活動 聞き書きボランティア ・協会運営の中長期計画の策定 	

第10期予算書

(2023年10月1日～2024年9月30日)

収入の部	第9期予算	第9期決算(見込)	第10期予算	備考
助成金収入	23,670,000	16,842,000	21,000,000	日本財団助成金
会費収入	3,220,000	1,640,000	3,500,000	正団48 正個7 賛助40
レビュー審査収入	300,000	100,000	300,000	10万*3カ所
研修参加費収入	1,000,000	1,064,000	1,000,000	全国、育成
ホームホスピスの学校受講料収入	2,800,000	3,328,700	3,200,000	つくる22万*10チーム、まなぶ4万*25名 (6,7期)
雑収入	0	13,273	0	受取利息
当期収入合計	30,990,000	22,987,973	29,000,000	
前期繰越金	1,109,695		3,374,813	

支出の部	第9期予算	第9期決算(見込)	第10期予算	備考		
事業費	評価及び認定(レビュー)	1,300,000	188,992	600,000	旅費・レビュー審査日当	
	研修会の実施	年次大会	3,000,000	2,996,278	2,800,000	12/2,3 福岡(ハイブリッド) 講師謝金・旅費、会場費、チラシ作成、通信運搬費
		支部活動費	1,200,000	866,821	1,200,000	30万*4支部 九州支部・西日本支部・東日本支部・関東支部
		育成塾	2,000,000	1,722,460	1,800,000	2日間研修(熊本市)
	人材育成	ホームホスピスの学校	2,000,000	1,703,562	1,800,000	90万*2回 講師・実習受け入れ団体謝金、旅費、現場実習団体指導者会議、チラシ制作
	開設及び拠点整備		1,600,000	770,109	1,120,000	開設前相談・視察 8万*2名*7カ所
	相談・運営にかかわる 基盤づくり	相談支援・ヒアリング	800,000	90,250	800,000	運営相談視察 8万*2名*5カ所
		実践者スキルアップ研修	135,000	30,000	100,000	講師謝金(オンライン研修)
		緊急支援	200,000	0	200,000	災害時支援(人材派遣旅費、送料等)
	調査研究と普及	500,000	188,600	400,000	データ収集・実態調査(基金設立のため)基準の改訂	
事業費総額	12,735,000	8,557,072	10,820,000			
管理費	人件費	6,500,000	5,265,720	5,000,000	事務局給与1名・パート1名(社保含む) 理事会記録雑給、法定福利費含む	
	家賃	960,000	960,000	960,000	事務局家賃、光熱費、事務機器使用料	
	事務用品費	50,000	2,970	300,000	事務用ソフトウェア、パソコン	
	消耗品費	30,000	69,797	70,000	コピー用紙・文具	
	会議費	400,000	206,986	200,000	理事会会場使用料	
	旅費・交通費	1,800,000	772,619	1,200,000	役員・事務局(研修会、理事会)	
	通信・運搬費	200,000	253,987	220,000	切手・レターパック・宅急便・携帯電話	
	業務委託費	2,700,000	2,760,000	4,500,000	事務委託(委託スタッフ増員)	
	広報費	150,000	64,845	150,000	ホームページ更新・名刺・ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)	
	租税公課	84,000	77,605	80,000	収入印紙・地方税	
	雑費	600,000	621,559	600,000	交際費、支払手数料、業務委託等、銀行システム利用料	
	減価償却費	140,000	0	40,000	倉庫、パソコン	
	予備費	4,641,000	0	4,860,000		
管理費総額	18,255,000	11,056,088	18,180,000			
当期支出合計	30,990,000	19,613,160	29,000,000			
当期繰越金		3,374,813				